

IPOC

一般財団法人
工業所有権協力センター
Industrial Property Cooperation Center

知財経験不問
先端技術リサーチャー募集！

ポスドクやPh.D取得者の 次の活躍の場として！

あなたの技術知識を
活かしてみませんか？

先端技術リサーチャー
3つの注目ポイント

- 01 自身の研究で培った知識を
最大限発揮できる！
- 02 最先端技術に触れ、さらなる
スキルアップができる！
- 03 長く安定して
働くことができる！



先端技術リサーチャー募集！

一般財団法人 工業所有権協力センター(IPCC)では、先端技術リサーチャーを毎年募集しています。IPCCは、特許庁の重要な業務(特許の先行技術調査)を請け負う我が国最大手の登録調査機関です。

各種分野で1,200名以上のエキスパート(e.g. Ph.D約150名)が最先端の技術を調査する仕事をしています。研究者としてのこれまでの知見をフルに活用できる仕事で、今後とも日々最先端の技術に接することができるのと同時に、最先端技術を調査するスキルも身に付きます。また、福利厚生が手厚く、個人で業務量を選択し、フレックスタイム制で働くことができるので、長く安定して働くこともできる環境が整っています。

先輩の声



機械B部門
医療機器グループ
2015年10月入団
研究機関出身

研究職出身で生かせる経験

大学・研究所の発表では、研究テーマの動機付け・実験手法・結果・考察といった流れで論理的にかつ分かり易く他人に伝えることが必要ですが、特許庁の審査官に検索で見つけた文献を説明する際に、この経験は大いに役立っています。

どこまでがこれまでに分かっているかを解決したいのか、発明者はなぜそのような構造を採用したのか、それにより何が解決されるのか、一連の流れは、よく似ていると思います。また、審査官の質問の中身を理解し、適切に回答するのも、学会発表における質疑応答の経験が役立つと思います。また、私の場合、医療機器の知識はそれほどありませんでしたが、様々な実験器具・システム等を使った経験がありましたので、こんな感じで動くのではないかとイメージしながら文献を読んでいます。

IPCCの魅力

こんな技術があるのではないかと予想を立てて調査を行い、想定した通りの文献、あるいはそれ以上の文献が見つかった時は達成感があります。自分の仮説通りの実験結果が出た時の高揚感に通じるものがあります。また、期待通りの文献が見つからなかったとしても全くの無駄ではなく、自分が調べた範囲には無いという情報を審査官へ報告できます。

会議などはほとんどなく、どの調査にどのくらい時間をかけるか、自分でかなり自由に設定できるので、勤務中に保育園からの急な呼び出しがあっても、柔軟に対応することができます。

転勤も無く、70代まで勤められるのも魅力と言えます。研究員時代は、限られた期間内に成果が出るだろうか、数年後にはどこに引っ越すことになるだろうか、そもそも次の就職ができるのだろうか、という危機感が常にありましたが、そういった心配はなくなったと思います。

入団直後の最初の研修はなかなかハードです。また、今までほぼ触れたことの無い法律知識を習得するには、体力も必要です。検索業務は、高い集中力を必要とするので大変ではあるのですが、30代、40代の研究者の新たな挑戦先としては、IPCCは魅力的な職場ではないかと思えます。



勤務地	木場オフィス：東京メトロ東西線「木場駅」(東京(大手町駅から)7分) ※在宅勤務も一部可 ※転勤なし
勤務時間	フレックスタイム制
処遇等	①年収約630万円(標準業務量を達成した入団3年目の年収) ②通勤手当(新幹線通勤可)、単身赴任手当、住宅手当 ③社会保険・労働保険 完備 ④休日・休暇【年間休日120日以上】
問合せ先	人材開発センター 開発部 採用課 TEL 03-6665-7852 FAX 03-6665-7886 E-mail:ipcc-jin@ipcc.or.jp

採用情報は
こちら↓

